

初めての稚児行列

戦国時代の武将「甲斐宗運」の塔墓がある、永寿寺（木倉）で、48年ぶりの住職交代を記念した、稚児行列がありました。稚児行列は、子どもたちが僧侶を阿弥陀の下に導いていくと伝えられています。1～14歳の和装姿や冠をかぶった子どもたちや僧侶約70人が、公民館木倉分館から同寺まで約1^きのコースを地域住民が見守るなか歩きました。今年、開基345年の同寺で稚児行列が行われたのは初めてになります。



地域住民が見守るなか歩く子どもたち



東禅寺内を見学する参加者

地域に眠る文化財を学ぶ

地域福祉の情報交換の場として活動している「ふくし絆塾」が、地域の文化財を学ぶため、東禅寺（辺田見）や妙見坂（西南戦争の熊本隊士の墓）などを見学しました。東禅寺には、県指定文化財になっている、彫刻「木造釈迦三尊像」や歴史資料「東禅寺洞春壽宗関係資料」があり、参加者からは「近くに文化財があるとは知らなかった」と驚きの声が上がっていました。中村幸雄会長は「これからも、あまり知られていない地域の文化財を勉強していきたい」と話しました。



「定期的な健診が必要」と話す戸高先生

糖尿病を予防するために

10月29日、町カルチャーセンターで、糖尿病予防講演会が開催され、約100人が参加しました。町の健康診断の結果、高血糖状態にある人が受診者の過半数を超えていたため、糖尿病予防支援の一環として町が企画。糖尿病を専門に扱っている、とだか内科クリニックの戸高幹夫院長を講師として、「今日のあなたは未来のあなたに何ができますか？」という演題で講演が行われました。今月の健康へのヒントは、戸高先生による講演について掲載しています。



一生懸命いもを掘り起こす園児たち

上野保育園芋ほり

10月31日、上野保育園（宗心みどり園長、49人）の園児31人が、川口勝行さん（上野）の畑で芋ほり交流を行いました。農業体験や思い出づくりを目的に、今年で12回目。4年前からは町民生・児童委員も参加して行われています。園児たちは、5月に植えたさつまいも「紅はるか」を掘りおこしました。掘ったイモは園児たちにプレゼントされたほか、芋天のおやつが振る舞われました。

第5回美術・工芸協会展覧会

10月15日から23日まで、「第5回町美術・工芸協会展覧会」が町カルチャーセンターアートホールで開催されました。展覧会は、町内の美術家や陶芸家など29人の、油絵や水彩画、イラストなどの作品約60点が展示され、約500人が訪れました。代表世話人の竹田津純さんは「作品は年々増えてきている。町内の眠っている作品と一緒に展示していけたらと思う」と話しました。詳しくは竹田津代表（☎282-2524）までお尋ねください。



竹田津さんに説明を受ける学生たち



上映された各サロンの活動の様子

みんなで広げよう 地域の輪

10月25日、町カルチャーセンターで、サロン事業の活性化と交流促進を目的としたサロンのつどい「サロンピック」が開催され、約400人が参加しました。つどいでは、井ノ一昭代さんと永山利行さんが、それぞれのサロンで取り組んでいる活動内容を、スライドに合わせて報告。また、歯科衛生士による「お口のお話」や各サロンのアトラクションが披露され、最後に全サロンの活動風景がDVDで上映されました。

東部地区でスポーツフェスタ開催

10月26日、田代東部分館広場で、田代東部地区体育協会主催の「東部地区スポーツフェスタ」が開催されました。今年で4回目のスポーツフェスタには約250人が参加。開会式では東学さんによる選手宣誓が行われ、6つの区は4チームに分かれて点数を競い合いました。「尻圧（ケツアツ）測定」や「与作（丸太切り）」などユニークな競技に観客からは歓声や笑い声が沸き、大会はおおいに盛り上がりしました。



丸太切りを前に気合十分な選手たち



炭坑節を披露する元気クラブのメンバー

美緑のむら里祭り

10月26日、第二明星学園田代西部福祉センターで、北田代公民館主催の第12回美緑のむら里祭りが開催されました。祭りでは七滝中央小学校3年生による伝統芸能獅子舞が披露された後、町地域防災係による自主防災組織についての出前講座が行われました。その後の演芸大会では、個人や団体からダンスや歌謡曲など、さまざまな芸が披露されました。また、昼食時には消防団や第二明星学園などによるバザーが行われ、会場は一日賑わいました。